

〈解答〉

- ① 1 ドイツ
2 ア
3 記号：ウ 名称：ポーツマス条約
4 足尾〔足尾銅山〕
5 〔例〕シベリア出兵を見こんで商人たちが米を買い占めた
6 イ
7 イ→ウ→ア（完答）

配点 ① 5, 7 は各 2 点, 他は各 1 点 10 点満点

〈解説〉

- ① 1 国会開設を約束した政府は、憲法の作成に乗り出した。伊藤博文はヨーロッパへ留学して、君主の権力が強いドイツ〔プロイセン〕の憲法を中心に調査し、帰国後、憲法草案の作成を始めた。
- 2 1895年に結ばれた下関条約で、日本は清に朝鮮の独立を認めさせ、遼東半島・台湾・澎湖諸島と、2億両（テール）（当時の日本の国家予算の約3.6倍）の賠償金を得た。イは1905年に結ばれた日露戦争の講和条約であるポーツマス条約、ウは1915年に中華民国に示した二十一か条の要求、エは1911年、小村寿太郎外相の下、日米間などで新たな通商航海条約が結ばれ、日本は関税自主権を完全に回復した。
- 3 ア平塚らいてうは婦人運動家で、1911年に青鞥社をつくって「青鞥」を発行した。また、1920年に新婦人協会をつくり、婦人参政権運動をすすめた。イ津田梅子は、1871年、7歳のとき、岩倉使節団とともにアメリカに渡った。1900年に東京に女子英学塾を設立し、英語と英文学を中心に女子の教育につとめた。エ樋口一葉は、明治時代の小説家で、「たけくらべ」、「にごりえ」などが代表作で、庶民生活や貧しさの中で人間らしい生き方を求める女性のすがたをえがいた。ポーツマス条約で、ロシアは、韓国における日本の優越権、遼東半島の租借権や南満州鉄道の権益をゆずること、樺太〔サハリン〕の南半分を日本の領土とすること、などを認めた。
- 4 1877年に民間に払い下げられた足尾銅山（栃木県）は、西洋式の技術改良によって、産出量が急激に増えた。一方で、鉍毒を含む廃水が渡良瀬川に流出し、農作物は枯れ、魚は死滅し、死者も発生するなど、流域の住民は大きな被害を受けていた。地元の衆議院議員だった田中正造は、住民とともに、操業の停止や被害者の救済を求める運動を進めた。
- 5 ロシア革命の影響によって国内の労働運動や植民地での民族独立運動が活発になることを恐れ、1918年、イギリスやアメリカ、日本などは、ソビエト政府を倒して革命の広がりをおさえるために、シベリアに軍事干渉を行った。これをシベリア出兵という。シベリア出兵をあてこんだ米の買い占めなどで米価が急に高くなり、人々の生活は大きな打撃を受けた。1918年、米の安売りなどを求めて民衆が米屋や精

米会社を襲う米騒動がおこり、全国各地に広がった。

- 6 沖縄が日本に復帰したのは1972年である。イ1972年に田中角栄内閣が日中共同声明によって国交を正常化した。アは1956年、ウは1951年、エは1978年のできごとである。
- 7 イは第一次世界大戦後、ウは1933年、アは1949年のできごとである。